

令和6年度 札幌青葉鍼灸柔整専門学校 学校関係者評価委員会 議事録

開催日時：令和6年5月17日 17:00～18:50

開催場所：柔整棟3階会議室

評議委員：水上 弘祥（北海道鍼灸柔整マッサージ師会 会長）
関 克彦（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 卒業生：青葉会（同窓会）会長）
吉田 真人（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 卒業生）欠席
渡辺 潤（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 卒業生）欠席
加藤 善弘（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 卒業生）

自校教員：岸野 庸平（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 校長）
岩倉 淳（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 顧問）
長谷川 源（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 鍼灸学科長）欠席
八重樫 正（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 柔道整復学科長）
工藤 久美子（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 柔道整復学科教員）＊書記役
上尾 慎（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 鍼灸学科教員）＊書記役

◆司会進行：岸野 庸平

【欠席者の評価】 A：適切 B：ほぼ適切 C：やや不十分 D：不十分

1. 議長の選出

定刻に至り、司会進行役である岸野庸平が開会を宣言し、本日の学校関係者評価委員会の議長選出を諮ったところ、満場一致で、水上弘祥が議長に選任された。

2. 評価報告および審議

<教育目標と本年度の重点目標の評価>

岸 野：この件に関してご意見はありますか。

岩 倉：現状、附属鍼灸治療院・接骨院の来院数が少ない。その理由は、鍼灸学科については教員の退職者が続いたことで、教員数が少なくなり、さらに昼間1部と昼間2部の授業があり、患者治療に手が回らないという点が考えられる。柔道整復学科については、学校としても積極的な集客をしていないという反省点があるので、今後は本校の考えとして臨床教育を特徴としていることから、

予約システムを構築し、チラシを作成して集客を進めていく予定である。また、集客に関して何か良い方法があればご意見をお願いしたい。

水 上：集客については理解できるが、集客すると教員の手が余計に回らなくなるのではないかと？

岩 倉：今後、附属治療院が軌道に乗った際には、卒業生を雇ったりすることも考えている。

水 上：卒業後に健康保険を扱うには実務研修が必要となる。実務研修の場を学生に用意する必要がある。週1回でも2回でも、実務研修の場を作ってあげる必要がある。実務経験が柔道整復は3年間、鍼灸は1年間必要となっている。開業して健康保険を扱いたいときに実務経験がないと大変なので、学生生活の中で実務研修を終えていることができれば有利になるので、体制を整えてあげる必要がある。様々な問題はあると思うが実行するしかない。ところで、教員数はそんなに減ったのか？また教員の治療経験が不足しているのか？

八重樫：集客不足はもちろんのこと、まだまだ様々と問題があります。

水 上：例えば、週1日の午前中だけのような営業形態を考えることはできないか？

岩 倉：診療日時を決めて、そこで集客していき、少しずつ増やしていけば良いのか？

水 上：そうやって少しずつ。そのあとは口コミで集客できるのではないかと。

岩 倉：参考になる意見だと思います。附属接骨院について柔道整復学科はどのような状況ですか？

八重樫：柔道整復学科に関しては、基本的に午前中は授業があるため、いまの所は午後からの治療となっています。

加 藤：結構患者さんに「どこの学校出身ですか？」と聞かれて「青葉出身です。」と応えると結構みんな知っている。学校の場所や名前は知っている。しかし学校があることは知っているが、附属治療院があることは知らないのだと思います。ホームページや SNS をみても附属治療院のことまでは知らない人が多いと思います。

水 上：先日、NHK でツボの番組があった。ツボに興味がある人は、何時にどこのチャンネルでツボの放送が見られるか探している。札幌青葉のホームページを見ることで、その情報が手に入るというようなことが出来れば、ホームページの閲覧数が増えて、集客にもつながるのではないかと。ところで、現在の附属鍼灸院の治療費はいくらですか？

岩 倉：まずホームページについて、今年の4月からホームページをリニューアルして、スマートフォンでもトップ画面下方に附属鍼灸治療院・接骨院のバーナーをおいている。このバーナーから予約できるように計画中である。

加 藤：以前、附属鍼灸治療院の料金は500円で診ていたと思うのですが、現状はどうなっていますか？

岩 倉：臨床実習以外の患者さんは3,000円、臨床実習の患者さんは材料費として500円のみを頂いていると思います。

上 尾：臨床実習は500円、一般外来では3,000円（学生1,000円）、美容鍼灸では4,000円と6,000円のコースがあります。しかし臨床実習では美容鍼灸のお客様は受付ないことにしている。

加 藤：今は、臨床実習の患者さんは来ていますか？

岩 倉：以前と比較するとほとんど来ていないのが現状ではないかと思う。

水 上：臨床実習の料金をあまり安くしすぎると、近隣の同業者に迷惑がかかるので、3,000円くらいはいただくように業界として申し入れをしているところもある。周りの業界の人達も困る。

岩 倉：以前、本校柔道整復学科教員の大村先生が、附属接骨院を稼働させる際、あまり料金を安くする

と近隣の接骨院が困るということを仰っていた。周りの接骨院に習った料金にしたほうがよいのではないかと話していた。

水 上：そうしないと近隣の治療院が困る。

【欠席者の評価】 A：0名 B：1名 C：1名 D：0名

- (1) 教育理念・目的・育成人材像について
- (2) 学校運営について

岸 野：この件に関してご意見はありますか。

岩 倉：学校運営で最も重要なのが、やはり学生に入学してもらうことだ。入り口である広報活動が重要であるという一点と、学生が育って国家試験に受かるという出口の部分が重要だ。

以前、札幌青葉学園3つの学校で一つの広報室として活動していたが、3つの学校それぞれの広報室に分けた。分けた当初は、広報の職員が次々と辞めてしまい、広報のことをよく知らない職員が広報活動せざるを得ない状況となってしまった。現在は、月に1回定例の広報会議を開催し、それ以外にも打ち合わせをしている。今年度は戦略をしっかりと考えて、それに対する戦術もしっかりと考えた。今後、しっかりと広報活動を体系化することで、学生をしっかりとキャッチしていきたいと考えている。

また国家資格について、今年は鍼灸、柔道整復ともに9割以上の合格率となったが、受験者数、合格者数は、鍼灸が28名受験、27名が合格となっているが、昼間1部と昼間2部の合計定員60名中受験者が28名、さらに柔道整復は定員60名中受験者26名で、定員からは遥かに少ない人数が受験していることになる。退学者が多かったことや、鍼灸昼間2部の入学者が少なかったこともある。

水 上：他校は柔道整復科が廃止になってきている。北海道では青葉を含めて来年度は2校となるが、何故学校が減っているのか？その根本原因が分からないと、いつ札幌青葉も同じ状況に追い込まれるかもしれないので真剣に考えるべきである。学校が半分になるので学生は一時的には集まるかもしれないが、そういつている場合ではない。

岩 倉：北海道柔整専門学校（北柔）がどうしてこのようになったか話はきいていますか？

八重樫：一つは高校生数が減っていること、北柔は広報活動を専門にしている部所がなかったことが考えられる。

水 上：本州（道外）の学校はどのような状況か？

岩 倉：ここ最近、道外では学生募集停止の話はあまり聞いていない。入学者の数が一桁となっても募集停止をしていない学校もある。

水 上：札幌青葉の今年度の入学者の数は？

八重樫：柔道整復学科は48名の入学で、そのうち5名は北柔からの受け入れ入学者となっている。

水 上：4年生の大学に行く人が多い。

岩 倉：柔道整復学科は医師でなければできない授業があり、医師を探して確保することが厳しく、柔道整復学科を運営していくことに影響がでてしまうという問題もある。

北海道ハイテクと札幌スポメディが「柔道整復師は、こんな仕事だ」と広めてくれていた部分も

あるので、北海道ハイテクと北柔の2校が学生募集を停止したことで柔道整復師の仕事についての啓蒙ができなくなるということも危惧している。

【欠席者の評価】 A：0名 B：2名 C：0名 D：0名

(3) 教育活動について

岸 野：この件に関してご意見はありますか。

水 上：今回の国家試験合格率について、札幌青葉は9割を超えているが、他校の状況はどのようになっていますか？

八重樫：柔道整復新卒の合格率は北海道柔整が約85%、ハイテクが約40%、三幸学園が約52%で、本校は96.2%となっている。

水 上：札幌青葉は、合格率が高いことで他校よりも教育体制が整っていることをアピールしたほうがいい。鍼灸の合格率はどうなっていますか？

岩 倉：札幌青葉は96.4%、ハイテク93.3%、北海道鍼灸92.2%、スポメディは80.8%となっている。

水 上：やはり合格率の違いを全面に出すことで広報活動に活かしていくほうがいい。

加 藤：全国平均はどうなっていますか？

八重樫：新卒で84%程度。

加 藤：札幌青葉は優秀ですね。

岸 野：札幌青葉は全道No.1です。

岩 倉：今年度は胸を張ってアピールできます。

水 上：この数字をうまくアピールする必要がある。教育体制が数字で表されていると伝えることが必要だ。

① 成績評価・単位認定について

【欠席者の評価】 A：1名 B：1名 C：0名 D：0名

② 資格・免許の取得指導体制について

【欠席者の評価】 A：1名 B：1名 C：0名 D：0名

③ 教員・組織について

【欠席者の評価】 A：0名 B：2名 C：0名 D：0名

(4) 学習成果について

岸 野：この件に関してご意見はありますか。

岩 倉：近年、株式会社セイリンなどが主催する合同企業説明会を利用することで、学生が就職を決める機会が増えたことは良いかと思っていたが、最近は逆によりしくない点もあると考えている。その理由として学校側が不合同企業説明会（開催業者）に任せきりになってしまっていて、教員が学生

の動向を把握できていないということが見受けられる。さらに、合同企業説明会に参加したくても参加できない企業があり、セイリンの合同企業説明会だけではなく、ここの治療院・接骨院で就職説明会を実施してほしいという話を、本校卒業生から聞いている。もっと在校生のみならず、卒業生に対しても親身に考えられるようにしたい。最近、札幌青葉と卒業生の関係性が薄くなってきているように感じている。卒業生との関係を築くことによって、特に社会人の入学者にもつなげていきたいと考えている。今後、合同企業説明会を含め、就職活動支援の方法等については再考する必要があると考えている。

水 上：学校に求人を出しても卒業生、有資格者を紹介してもらえない状況が続いている。卒業生の多くが合同企業説明会で企業を選んで東京に出て行く。東京に出て、疲れて治療家をやめてしまうという話をよく聞く。そういう悪循環をやめたい。地元を見て、地元で就職活動を行ってほしい。もっと地元企業を見て欲しい。札幌青葉に入学生を紹介しても、多くが東京に行ってしまうのであれば、だれも紹介してくれなくなってしまう。良い循環を作っていきたい。学生が良い条件を見て、これに惹かれて就職を決める理由も分かるが、そばにある企業を見ていないと足元をすくわれてしまうのかもしれない。

岩 倉：加藤先生のご意見は？

加 藤：自分たちが学生の頃は廊下に求人票の掲示があったが、今は無くなっているが、卒業生の治療院からの求人票などはどのようになっているか？

八重樫：現在は、求人票の内容については職員室に求人票のファイルをおき、就職を希望する学生は職員室に来ていつでも求人票を見ることができるようになっている。

加 藤：その求人票をみて就職する人もいるのか？

八重樫：学生が求人票のファイルをみて、希望の企業に問い合わせで就職活動をしている。廊下に求人票を貼らなくなった経緯としては、多くの企業から、給与等の求人内容が漏れないようにして欲しいという話があったためである。

水 上：セイリンの合同企業説明会に参加したことでどのくらい道外へ就職が決まっているのか？

八重樫：今年の柔道整復は、進学を除いて就職希望者の19名中7名が道外へ就職している。

水 上：鍼灸については？

上 尾：道外8名 道内7名 現職や開業6名 進学2名 鍼灸師以外3名（留年者を含む）となっており、道外が最も多い状況です。

水 上：地元へ還元してないですね。セイリンはいいでしょうけど。

岩 倉：セイリンにも実情を知ってもらって、今後は道内企業中心とかの企業説明会も考えてもらいたい。

水 上：企業説明会も道内、道外ともに実施してもらいたい。

上 尾：企業説明会を行う企業は数社あるが、いつもと同じ企業となる。せめて、学校で行う8月の企業説明会では、道内企業を中心に企業を集めたいと考えている。

岩 倉：一度道外に出て行くと、道内に戻ってくる者が少ない。そんな状況が続いてしまうと、極論ではあるが北海道に鍼灸師も柔道整復師もいなくなり、最初から学校を本州に選んでしまう可能性もあるかもしれない。卒業生からは“鍼灸師が足りない”という悲鳴のような声が上がっている。この件に関しては早急に対策が必要だと考える。

岸 野：有資格者が足りないのならば、整体師のような無資格者を雇うというような動きもみられる。リラクゼーションマッサージが活発になっている。リラクゼーションは我々にとって邪魔なもので

しかないのに。

水 上：地元還元というのも難しいのは承知しているが変えていく必要はある。

加 藤：私たちが学生のときは、夜間部だったので学校に通いながら接骨院で働いていたが、最近の学生はどうですか？

岩 倉：今は夜間部がないが、昼間部の学生はどんな所でアルバイトをしているのか？

工 藤：今の学生は、経験を積むより時給の良いアルバイトを選んでいる。

加 藤：柔道整復の資格を取得して、鍼灸学科に入学している学生はどんなアルバイトをしていますか？

上 尾：1年生および2年生の学生は、全く鍼灸や柔道整復に関係のないアルバイトをしている。テレフォンアポイントメントの仕事など。

岩 倉：夜間部があった頃は、社会人が多かったので経験を積みたいという学生が多かった。

水 上：一人治療院では、学生に教える体制ができていない。

2～3人いる治療院でアルバイトをしても臨床現場の大変さを見ると嫌になる人もいるかもしれない。

加 藤：卒業生の治療院でアルバイトをして、卒業後にそこで働くのはどうでしょう。

水 上：個人事業主の治療院は、労働条件が良くない、長時間労働などいわゆるブラックな部分が多い。

岸 野：現在は業界自体の儲けも減って来ているのかなと思う。私が学生の頃は、学校に行きながら働いていた。今考えるブラックのような治療院だったが、1日患者さんが100人も来ているというのを見ていたら、「自分もいつかこうなってやろう」と思えた。今は、1日100人も来るような治療院はなかなかないので、学生が30人くらいの治療院でアルバイトをしてもあまり魅力を感じないのかもしれない。

① 就職について

【欠席者の評価】 A：0名 B：2名 C：0名 D：0名

② 資格・免許の取得取得について

【欠席者の評価】 A：0名 B：2名 C：0名 D：0名

③ 卒業生の社会的評価について

【欠席者の評価】 A：0名 B：1名 C：1名 D：0名

(5) 学生支援について

岸 野：この件に関してご意見はありますか。

岩 倉：札幌青葉の教員は、しっかりと学生対応してくれている方だと思う。ただし、令和5年度の退学者は、鍼灸・柔道整復全体（1～3年生）で20名、内訳は鍼灸が8名、柔道整復が12名であった。以前よりは減っているように感じるがまだ多い。毎年、前期から後期への変り目である9月から10月、年度末の3月に退学希望者が出てくるが、昨年度はこれまでの時期とは関係なく退学を申し出てくる学生が多かった。これは、学習面の問題だけではなく、そもそもやる気のない学生が多いように感じてしまい、教員も苦労しているところである。

水 上：学費はどのくらいですか？ハローワークの給付金制度は使えますか？

岩 倉：本校はハローワークの給付金制度を利用できる基準を満たしていない。制度を利用するには退学率や合格率など条件が厳しいが、この給付金があれば、かなり学費負担が少なくなり卒業することができる。今後の課題としては、退学者を減らすようにしないといけないが、最近のや

る気のない学生を3年生まで面倒みても卒業近くなって、国家試験に合格できなければ合格率が悪くなり、結局ハローワークの奨学金の条件を満たせなくなることが危惧される。他校では、奨学金の条件を満たしているのは社会人の学生が多いせいか、自分で学費を払って入学していることで、普段からコツコツ勉強もするし、そう簡単には退学しないということがある。札幌青葉も鍼灸がハローワークの奨学金を利用できていたこともあった。最近、奨学金を出すことにより、卒業後は何年間働くことを条件づけている治療院や企業もある。

水 上：合格率はともかくとして、退学者を出さないことが重要になる。

① 就職など進路について

【欠席者の評価】 A：0名 B：0名 C：2名 D：0名

② 中途退学への対応

【欠席者の評価】 A：0名 B：2名 C：0名 D：0名

③ 学生相談

【欠席者の評価】 A：0名 B：2名 C：0名 D：0名

④ 学生生活

【欠席者の評価】 A：0名 B：2名 C：0名 D：0名

⑤ 保護者との連携について

【欠席者の評価】 A：0名 B：2名 C：0名 D：0名

(6) 教育環境について

岸 野：この件に関してご意見はありますか。

特に意見なし。

【欠席者の評価】 A：0名 B：1名 C：1名 D：0名

(7) 学生の募集と受け入れについて

岸 野：この件に関してご意見はありますか。

特に意見なし。

【欠席者の評価】 A：0名 B：1名 C：1名 D：0名

(8) 財務について

岸 野：この件に関してご意見はありますか。

特に意見なし。

【欠席者の評価】 A：0名 B：2名 C：0名 D：0名

(9) 法令等の順守について

岸 野：この件に関してご意見はありますか。

特に意見なし。

【欠席者の評価】 A：0名 B：2名 C：0名 D：0名

(10) 社会貢献について

岸 野：この件に関してご意見はありますか。

特に意見なし。

① 社会貢献・地域貢献について

【欠席者の評価】 A：1名 B：1名 C：0名 D：0名

② ボランティア活動について

【欠席者の評価】 A：1名 B：1名 C：0名 D：0名